

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和5年2月号



令和五年二月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区
醍醐東大路町二十二
電話〇七五―五七一一―〇〇〇二

今月の掲載内容

- ・ 一年前の自分は別人である 1
- ・ 録事 2
- ・ 宗派だより 3
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・ 本庁からのお知らせ 3
- ・ 醍醐寺からのお知らせ 3

一年前の自分は

別人である

財務部長 三好 祥徳

いまだにコロナ終息は叶わず、ウクライナ情勢等世界平和が脅かされ日々のご苦労の中皆様お元氣でお過ごしでしょうか？

新しい年を迎え早ひと月、引き続き内局として身を引き締めて奉職させていただいております。とりわけ昨年の太元帥大法を諸大徳皆様と奉修させていただけた事 大変光榮に存じ上げます。また心から寄り添っていただきご寄進まで頂戴いたしました方々に重ねて心中より御礼を申し上げます。法流本山として法を次の世代に伝える事の大切さを教えていただいた大法でありました。そこに門跡の仰った「思い」を込めて真摯に祈りを続けられた事は自分の自信になりました。祈れば祈るほど、祈りの力、祈りの尊さを優しく太元様から教えていただきました。その大法を伝え継いでいる醍醐寺のありがたさも改めて教えて頂き、すごいお寺で奉職させていただいている事がとても尊く嬉しくて涙が滲むことも度々でありました。正直道場以外で学ぶことも多く、自分の器の小ささを自覚。毎日が大変でもありましたが、ご一緒頂いた諸先輩や職員の方々に助けていただき無事成満出来ました事感謝しております。本当にありがとうございます。とてもとてもありがたいが

い感動の時間を過ごせた毎日でありました。

醍醐寺は仲田順和門跡の「国境なき祈り」を胸に宇宙に目を向け祈りを続けている寺でもありません。打ち合わせでも宇宙自然森カーボンフリーそんな言葉が飛び交う話し合いも多くございます。次の世代の命を大切に思えば思うほど寺が今どうあるべきかを真剣に考えている寺でもあります。旧年中もたくさんさんの催しが催されました。その中で私がとても興味深く惹かれたのが十二月十七日 霊宝館での『世界遺産劇場 醍醐寺 密教と文化 自然と文化の協奏』でのトークフォーラム「空海

かく語りき」生物学者の福岡伸一先生・社会学者の古市憲寿先生・仲田順英執行御三方でのディスカッションでした。特に生物学者福岡伸一先生のお話には時間が経つのを忘れてしまう程引き込まれました。先生の命に対するお考えは心に響く言葉ばかりであります。そこには、我々僧侶が大切にしている生命感が立ち上がっていて、数字や記号で研究されていらつしやるであろう生物学者らしからぬ哲学者のような詩人の言葉のようなわかりやすい言葉で「生命観」を繰り広げられました。記憶に残る言葉を二つご紹介致します。

①「なぜ毎日ご飯を食べるのか」我々生物の体は合成と分解で成り立っている。その流れを止めない為に食べ物を食べ続けなければならぬ。と、先生は分子や原子レベルで細胞の成り立ちを分かりやすくお話しされました。

②「一年前の自分は別人である」人の細胞は大体二日か三日で分解され捨てられているのだそうです。筋肉だと二週間。血液は数ヶ月で入れ替

わってしまいうらしいのです。数ヶ月後には相当な部分が入れ替わり、生物学上一年前の自分はほぼ別人であるらしいのです。先生がとても面白く語られたフレーズもご紹介させていただきます。

「体内から排出されるウンチの主成分は食物のカスではなく分解されて捨てられた細胞のカス」なのだそう。驚きませんか？ 学者先生が淡々と真面目に語られれば語られるほどとても面白く福岡ワールドに引き込まれました。

自分の排泄物の成分のほとんどが細胞のカスだという事実を知らされる。物事を分子レベルで考えることを促され、視点を変えて考えていくとそこには「生命観」が立ってきました。

見えているものだけで考えてはいけないのではないのでしょうか？今をどう生きるのか 福岡先生の「生命観」にとっても共感する時間でありました。うまく言えず恐縮ですがもう少しお付き合いください。

今の医学の命の価値観はどうなのでしょう？ 脳死 薬 数字 人工的な考え 本来の自然からは離れてしまっていると先生は指摘されています。自然や生命の本質は滑らかな時間として連続しているものであると。それは遠い昔に仏教の先人たちが説いて下さった事と同じ言葉ではないのかと思われました。勝手な解釈ですが自分がとても腑に落ちた瞬間でありました。真剣に次世代のことを考えなければいけない今こそ 視点を替えて本質を考え 本当の自然ものの本質を考える時が来ているのだと、私は改めて思う次第であります。

宗派だより

真言宗各派総大本山会 令和四年度人権推進研修会

令和四年十一月十日(木)

研修場所…神戸市内ワールドワーク

研修内容…近代神戸と生田川―新川部落・賀川豊彦・水平社
参加者…井川文現、井川文浄、飯田俊海

末寺・教会・醍醐寺だより

【京の杜プロジェクト】落ち葉拾い及び金堂の清掃

令和四年十二月二日(金) 立命館小・四年生 百三十名

三重・惣正寺 団参 三十三名

令和四年十二月三日(土) 柴燈護摩・太元帥後拝み参拝

千葉・神崎寺 団参 十五名

令和四年十二月三日(土) 上醍醐参拝・太元帥後拝み参拝

愛知・観心寺 団参 六名

令和四年十二月三日(土) 伽藍参拝・太元帥後拝み参拝

第四十三回世界遺産劇場

目で、耳で、心で―京都醍醐寺で幻想のひとつとき

令和四年十二月十七日(土) 霊宝館

・ 声明・醍醐寺

・ 記念講演…「樹影の仏陀」 中西進

・ 声優朗読劇…高野聖(泉鏡花) / 土神と狐(宮沢賢治)

浪川大輔・増田俊樹・上田瞳

醍醐寺 密教と文化―自然と文化の協奏

令和四年十二月十八日(日) 霊宝館

・ 声明・醍醐寺

・ 能「自然居士」…大槻文蔵ほか

・ トークフォーラム「空海、かく語りき」…福岡伸一・古市憲寿・仲田順英

弘法大師御生誕一二五〇年記念

根本要&杉山清貴アコースティックジョイントライブ

令和四年十二月二十一日(水) 霊宝館

・ 出演…根本要・杉山清貴

・ 声明…醍醐寺

大晦日法要 平座理趣三昧法要

令和四年十二月三十一日(土) 午後十時三十分

伽藍 金堂

本庁からのお知らせ

総務部より

寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。

また、責任役員・総代に欠員が生じた場合は、選定の届け出が必要になります。宗務本庁では、任期満了にえられる寺院・教会に届け出のご案内をいたしております。速やかに申請を行ってくださいませようお願いいたします。

財務部より

宗費賦課金をご納入いただきまして、誠に有り難うございます。

まだご納入されていない方は、なるべくお早めにご納入いただきますようお願い申し上げます。※納入期限は令和五年三月三十一日(金)となります。

「宗費割当額報告書」を未提出の宗務所様は早めにご提出していただきますよう、お願い申し上げます。

僧階昇補などの各種申請や手続きの際には、宗費賦課金の未納金がございますと手続きすることができませんので、事前にご確認ください。

各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願いいたします。

教学部より

教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。

現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数でのご相談となりますので、是非お問い合わせください。

醍醐寺からのお知らせ

醍醐寺霊宝館企画展

「醍醐寺の明王像」

令和五年二月一日(水)～二月二十八日(火) 霊宝館

彼岸会 開白法要 平座理趣三昧法要

令和五年三月十八日(土)

午前十時三十分 伽藍 観音堂

彼岸会 中日法要 土砂加持法要

令和五年三月二十一日(火・祝)

午前十時三十分 伽藍 観音堂

彼岸会 結願法要 平座理趣三昧法要

令和五年三月二十四日(金)

午前十時三十分 伽藍 観音堂

<p style="text-align: center;">和光印刷株式会社</p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail: info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;">山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;">大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail: oosumihoi@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;">大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-0431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;">林勘法衣店</p> <p>〒602-0874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail: hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>〒600-18468 京都市下京区堀川通新花屋町角 (西本願寺前) TEL (075) 365-0001 FAX (075) 353-7021 アドレス 0120-1075-1730</p>	<p style="text-align: center;">田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;">松栄堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-5590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-2557</p>	<p style="text-align: center;">上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-3348 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;">毎月二十九日 国宝・五重大塔御開扉納経法要</p> <p>・午前十時三十分～ ・午後一時三十分～ ●当日、清瀧宮拝殿にて写経された方は、五重大塔御開扉法要中(約一時間)に、写経を奉納できます。 ●『高王十句観音経』写経奉納料 千円 ※なお、別途醍醐寺拝観料が必要です。 ※二月は二十八日となります。</p>

醍醐寺売店 今月のおすすめ品

【醍醐寺特選 五大カゼンざい】



内容量／180g
原材料／砂糖、小豆、食塩
日持ち／120日以上
販売価格／360円(税込)

小豆たっぷりの五大カゼンざいは上醍醐に登った後の疲れた体にちょうどいい感じに程よく甘く仕上げています。

お問い合わせ先 三宝院売店
TEL/FAX 075-571-0112



<https://daigoji-ugetsu.raku-uru.jp>

真言宗醍醐派公式ホームページのURLは、
<https://www.daigo.ne.jp/> です。

宗派内ページ(ログインが必要*)では、神変別冊のアーカイブ(過去号)をご覧になれば、必要書類のダウンロードもできますので、ご利用ください。

※宗派内ページへのログインパスワードは、shoubou1145 です。